

# 瀬戸内トラストニュース

第46号 2009年8月

環瀬戸内海会議事務局 700-0973 岡山市北区下中野318-114 松本方 Tel&fax 086-243-2927

## こんな豊かな瀬戸内の自然を壊さないで(第20回総会)

6.13~14 環瀬戸第20回総会は鞆の浦で開催された。まずはたっぷりと、世界に三つといわれる鞆の浦の円形自然港湾と歴史的景観を見てもらった。国重要文化財「太田家住宅」、一般には未開放の所まで太田家住宅を守る会会長・大井幹雄さんの流暢な説明のもと、たっぷりと中世からの酒蔵を体感したのではないか。

恒例の懇親会も鞆港が一望できる高台に建つ私宅のテラスを提供して頂いた。宿泊も「御舟宿いろは」はじめ、町家を提供して頂き堪能したのではないか。



記念すべき第20回総会会場も太田家新蔵、といつても100年以上前のもの、こんな風情のある会場はそんなに出会えるものではない。豊島の前川さんは酸素ボンベを背負う体調を押して、20数年前自分が石組み舗道工事したこともあり、参加してくれた。大入島からも下川夫妻がみんなの顔を見たいと駆けつけてく



れた。片道7時間余りかけて、滞留時間わずか2時間余り。本当に疲れ様でした。

瀬戸内海の環境にゆるがせに出来ない埋立て計画やダム建設計画が「公共事業」や「国策」の名のもとに、地元住民の意志を無視してしゃにむに進められ、住民訴訟に訴えての闘いが各地で相次いでいる。

大分県佐伯市大入島で浚渫土砂を埋める「廃棄物埋め立て護岸事業計画」、広島県福山市鞆の歴史的港湾を破壊する「鞆の浦港埋立て架橋計画」、昨年山口県上関町の中国電力による原発建設に伴う「長島・田ノ浦湾の埋め立て」には、県知事や国の公有水面埋め立て認可取消を求めた住民・市民が提訴している。加えて、総会直後の6月30日、香川県小豆島では、「内海ダム再開発」事業認定取消を求め、提訴した。

全面的に協力するとともに、鞆の浦はじめ埋立て事業計画を止めるため、瀬戸内法改正に向け取り組むことを決議した。ムダな公共事業の徹底見直しが叫ばれる中、環境を損ない、「ツケ」を次世代に回す計画を阻止するために、ご支援をお願いします。

環瀬戸内海会議事務局長 松本 宣崇

### 目 次

香川県 9. 7内海ダム再開発事業認定取消訴訟	9. 22~23宮本博司さんの話を聞く会	2
香川県 5. 30~31 日本景観学会小豆島大会	石井 亨 松本 宣崇	3
兵庫県 北但の広域ごみ処理施設建設反対申し入れ		4
広域ゴミ焼却炉建設反対のはかき作戦にご協力のお願い	坊岡住民のくらしと命を守る会	5
兵庫県豊岡市訪問記～コウノトリの郷にふさわしいゴミ処理を	阿部 悅子	6
環瀬戸内海会議第19期決算と第20期予算	山田 國廣 湯浅 一郎 渡辺 伸二	7
環瀬戸内海木第20回総会へのメッセージ	松本 宣崇 小西 良平	8
香川県 アースディカガワin豊島2009報告		9
岡山県 ハクセンシオマネキ群生観察会報告		10
2009年海岸生物調査各地点描	小西 良平	11
第20回総会での議論をふまえて 厳しい経済状況・ご一緒に乗り切りたい！	阿部 悅子	12

香川県小豆島、新内海ダム計画

## 9月7日「再開発事業認定取消」訴訟、初公判

総勢122名を原告人とした訴訟に〔傍聴〕に駆けつけて

新内海ダム再開発事業認定取消請求事件 第一回口頭弁論期日

2009年9月7日（月）16：10～

高松地方裁判所



2009.4.24 新内海ダム予定地 寒霞渓から望む  
道路付替え工事のため山肌が露わで痛々しい

総延長4km弱の別当川で、そもそも既存内海ダム（貯水量18万トン）の老朽化に伴う修復・強化という地元の要望が、なぜ、堤長447m、貯水量106万トンの巨大ダムに「化けたのか」理由は一切説明されていません。しかも、ダム建設の主な根拠とされた1976年の51年災害（17号台風）の被害は、隣接する片城川と別当川支流・西城川の土石流であったことは明らかです。また、吉田ダム（有効貯水量210万トン）が1997年より供用開始され、お蔭様で、以来小豆島島内全域では給水制限すら経験したことはありません。

09年6月30日高松地裁に、ダム再開発事業認定取消請求を提訴しました。内海ダム建設反対を表明してきた立木トラスト参加者が、立木の所有者であることを根拠に、原告人として、新内海ダムの「ムダ」を法廷で主張していきます。

折から、ブレにぶれる麻生政権の衆議院解散宣言、東京都議選自民党惨敗で「政権交代」実現の可能性が高まるにつれ、県は新内海ダム計画の既成事実化に突っ走っています。寒霞渓線の付替え道路工事の強行、土地収用委員会開催・土地の明け渡し裁決申請となり構わず。要は選挙・政権交代、そして次期政権発足までに形式上「法的手続き」を終えてしまおうという魂胆です。

全国から香川県小豆島・新内海ダム事業認定取消訴訟に、寒霞渓の景観を守り、ムダな公共事業を阻止するため、全国の心ある市民の皆様にご喜捨をお願いします。

\*注 民事・行政事件では、法律上「訴訟」ではなく「〇〇請求事件」、「公判」ではなく「第〇回口頭弁論期日」と表記するのが正確と、弁護団からご指摘を受けましたが、一般的に理解されやすいので、訴訟・公判の用語を用いました。

### 支援カンパ送付先

郵便振替 口座番号 01600-5-44750  
加入者名 環瀬戸内海会議

環瀬戸内海会議は、内海ダム反対運動支援カンパの受け入れ窓口です。

全国の心ある皆様のご喜捨を呼びかけます。ご協力をお願いします。

郵便振替用紙に「寒霞渓裁判支援カンパ」とご記入下さい。

寒霞渓の自然を守る連合会  
代表 山西 克明  
小豆郡小豆島町神懸通甲 1689  
FAX 0879-82-4634

### 元・淀川水系流域委員会委員長 宮本博司さんの話を聞く会



1952年京都市生れ（56歳）。京都大学大学院修士課程修了後、建設省に入省し、川の仕事に携わる。90年苦田ダム工事事務所長、94年長良川河口堰建設所長を経て、97年本省で河川法改正に関わった後、99年淀川河川事務所長、2004年近畿地方整備局河川部長を歴任し、淀川水系流域委員会の立ち上げ、運営に携わる。06年国土交通省退職。07年、淀川水系流域委員会委員長就任。08年委員長辞任。現在は京都で、実家の家業である株式会社樽商店代表取締役会長。40年前に途絶えた和樽、桶造りを復活するべく修行中。

9月22日(火) 16:00(予定) イマージュセンター二階大ホール小豆島町池田

9月23日(水) 13:00 香川県民ホール大会議室(小ホール棟4階)高松市玉藻

参加費(資料代) : 500円(学生無料)

連絡先:高松 090-2896-3410 または環瀬戸内海会議事務局・松本まで(詳細は同封チラシをご覧下さい)

### 5月30~31日 日本景観学会・小豆島大会開催

環瀬戸内海会議共同代表 石井 亨 事務局長 松本宣崇

景観とは何か、景観学とは何を学問するのか?どうやらその景観が人間の暮らしにとって、何らかの役割を果たしてこそ価値がある。しかし、その景観も、日常の中で空気のような存在としてみると、その価値を感じることも見えることも意外と難しい。そんな思いを抱きつつ、日本景観学会小豆島大会開催をお手伝いすることになった。これまで、景観学会の大会はおおむね、景観破壊が危惧される地域で開催されてきたそうだ。

今回のテーマは「景観と公共事業」～瀬戸内海を中心として～。

小豆島には島の渓谷美、国立公園第一号指定「寒霞渓」があり、中山や肥土山の棚田、農村歌舞伎舞台、映画の舞台となった岬の分教場が小豆島を象徴する景観であろう。20軒ある醤油醸造所も連ねてよいかもしれない。

第一日目は地元住民も参加の中、島外参加者は寒霞渓や棚田や分教場を視察して回った。

第二日は、地元からの参加者も多く会場はほぼ満席。100名近くが講演・シンポに聞き入った。



午前には自然の権利訴訟を進める、日本環境法律家連盟事務局長・籠橋隆明弁護士の基調講演、「景観」を巡る裁判の歴史、自然の権利訴訟の生まれた経過が報告された。国内での景観訴訟は「眺望」に始まり、景観破壊差止へと進んだ。自然の権利は、1970年代アメリカで黒人解放と同じく自然も解放されるべきと生まれ、特定の自然・生態系に法的価値を認め、それを市民が代弁するのが実践的と解説した。景観は人、生物、自然物、人工物の相互関係を示す総体、というより空間そのものに意味を与える。そして、自然の価値を関係の中に見出し、警官を生物や人、非生物、その活動、を含めた相互の関係の総体と捉えるとき、景観の価値と自然の価値は重なり合うとした。

午後は、公共事業問題に詳しい五十嵐敬喜弁護士の講演、公共事業のシステムとしての「四全総」国の補助、そして談合、国直轄の地方部局の存在と膨大で全くチェックされない局予算などがあると指摘した。いま、景観法の成立をバネに、神奈川県真鶴町が、景観保全条例を成立させ、以下に公共事業と景観のマッチを図るかに動き始めたことを紹介した。



そして内海ダム反対運動を闘う地元から、福山市鞆の浦埋立て架橋反対運動の現場、景観が破壊された香川県豊島、和歌山県和歌の浦・雜賀崎から報告がされた。次いで、大会実行委員長川村晃生教授の司会で講師・癌地報告者をパネラーにシンポジウム。各地から日々に発せられた公共事業による地域コミュニティの崩壊、嫌がらせ、「村八分」。胸の痛くなる思いであった。

司会者からの「公共事業は何のためか」の質問に、「公共事業は財政を破壊し、環境を破壊し、地域社会を破壊する」者という五十嵐弁護士の答えは明快そのもの、「公共事業は官僚のためのもの」と。

「公共事業が瀬戸内海の景観を破壊していると、大会で報告され、また、体験した現況を考えれば、公共の主体者は誰かということすら問わなければならない。日本最初の国立公園に指定された瀬戸内海の小豆島で、三大渓谷のひとつである寒霞渓の景観を保全してきた先人たちの努力を受け継ぐ人たちがいる限り、私たちは彼らとともに世界に誇れる瀬戸内海の景観保全が如何に可能なのかを考え行動していくことをここに宣言します。」小豆島大会宣言を発表して終わった。

## 兵庫県豊岡市

豊岡市長 中貝 宗治 様

2009年6月26日

環瀬戸内海会議 共同代表 阿部悦子（愛媛県）  
石井亨（香川県）  
事務局長 松本宣崇（岡山県）

### 愛媛県に於けるコウノトリ定着に向けたご支援と 豊岡市坊岡区のごみ処理施設に関する申し入れ

私ども環瀬戸内海会議は瀬戸内11府県の環境団体で構成されており、先日20周年の総会を迎えた自然保護団体であります。これまで、ゴルフ場リゾートの乱開発や海面の埋め立て、廃棄物問題などが私たち人間や動植物との共生を阻む問題であるとの観点から、地域の住民団体とともに活動を続けて参りました。

さて、ここ豊岡市は、コウノトリとの共生に取り組まれ、1965年からの人工飼育、繁殖、そして2005年からの放鳥事業にも成功されて、全国に「コウノトリの豊岡あり」との名声を確立されました。また、放鳥に当たっては「環境創造型農業（コウノトリ育む農法）」の導入や温暖化対策とともに、廃棄物の減少にも意欲的に取り組んでおられることは、環境の危機が叫ばれる今日にあって、まことに時宜を得た施策であると、心からの敬意を表する次第です。

特に、中貝市長様にあらまでは、有機農業推進のお立場からのご講演などによる各地での活躍を伺っており、首長の英知と決断が自治体にとってどんなに重要なものであるかを考えさせられます。

当会共同代表である阿部悦子は、豊岡の放鳥コウノトリペアから生まれた幼鳥コウノトリ2羽が飛来してくれたことのある愛媛県今治市の住民であり、20年前より有機農業による学校給食を実現する市民活動を行ってきたことから、昨日初めて豊岡の地に敬意をもって訪問させていただきました。ご案内いただいた生物多様性を確保するための田んぼの魚道を初め、多くのピオトープなど県と市を挙げてのお取り組みに、コウノトリ保護先進地の皆様の心意気と実行力に感銘を受けました。

一方、国内で一羽しかいないとされる野生のコウノトリ・「イチゴロウ」またの名「エヒメ」は、瀬戸内海を自由に越え、豊岡と愛媛県の西予市宇和町をたびたび行き来し、「コウノトリの郷公園」のご指導を受けています。しかし、愛媛県の保護活動がいかにも貧弱であることを省みる機会ともなりました。

今後は愛媛県内でも、コウノトリ保全の先進地である兵庫県豊岡市や市長様のご指導・ご協力を得て、愛媛県今治市や西予市宇和町でもコウノトリの定着が一日も早く実現できますよう当会においても地元保護団体共々積極的に取り組んで参る所存です。

ここに、一層のご支援と自治体行政間でのコウノトリ保全に向けた連携強化をお願い致すところです。よろしくお願い申し上げます。

このようにコウノトリを通じまして御縁をいただいた豊岡市長様にもう一つ、伏してのお願いがございます。市長様が管理者を務めておられます北但行政事務組合が「森本・坊岡区」に計画されてる「広域ごみ・汚泥施設」計画を是非とも御再考いただけますようにお願い申し上げます。この地区は当該計画に反対する住民が多く、11人の地権者が当事業に不同意であり、予定地の3分の1の土地の不売を宣言し、測量のための立ち入りも拒否しておられます。

しかも、森本・坊岡地区のある、旧竹野町は「一町一川」の町として全国に知られ、人々は農業用水飲料用水などの全てを竹野川の水に頼って生活しておられます。さらに下流域の竹野浜は、「日本の渚百選」に選ばれて風光明媚、海の幸の豊かな地域です。竹野川の水や地下水は、恵まれた山陰の海と漁業をもはぐくんでいました。まさにコウノトリとともに豊岡市を世界に発信することができる地域だと思います。これらの地域の方々の多くが竹野川の上流に、廃棄物施設が建設されることを危惧し、反対をしておられます。

コウノトリとの共生を全面に掲げた勇気ある豊岡市政は、まさに全国から、また世界から注目されています。「世界の人々に尊敬される小さな世界都市」構想に瀬戸内住民としても心からエールを送り、それぞれの自治体が豊岡市に続くよう期待していくたいと思います。このような環境自治体である豊岡市が、住民の声を聞かず、世界の環境政策に逆行する焼却と広域化に依存したごみ行政を進めることを大変残念に思います。すみやかに計画を撤回し、豊岡市政の高い理念にふさわしいごみ行政をご検討くださいますようお願ひいたします。

環瀬戸内海会議事務局  
岡山市北区下中野318-114 Tel・086-243-2927

## 広域ゴミ焼却炉建設反対のはがき作戦にご協力のお願い

坊岡住民のくらしと命を守る会 津嶋鹿知己

議会でいつの間にか作っていた枠組みで、市民のほとんどは知らないゴミ政策です。2年前、予定地だった日高町上郷区が計画撤回させ、広域ごみ政策の見直しが求められていたにもかかわらず、施設を建てるこだわりに執着する北但行政は、新たな予定地を竹野町森本・坊岡区に押しつけました。今やごみ施設は官と業の癒着した汚れた公共事業とさえいわれています。

### ★ 大問題な広域ごみ行政

#### 私たちも反省・勉強

ごみの分別には協力してきたものの、私たち自身これまで、ごみがどう処理されているのか、あまり関心が無かったことは否めません。しかし、勉強してみると広域ごみ行政が（NHK報道）、ごみを減らせないばかりか、すでに建てている所はどこも燃やすごみが足りず、分別したごみを燃やしたり、産廃を集めて燃やしている実態が分かってきました。

焼却はダイオキシンを初め、環境に悪い影響を与えます。日本は世界最大のダイオキシン発生源と言われています。地球温暖化にも逆行です。自治体は膨大な借金を抱えます。

世界の3分の1の焼却炉が日本にあります。大量生産・大量廃棄は人類の生存を脅かしています。先進国ではごみが発生しない仕組み作りが進み、焼却は最小限に抑える努力をしています。広域の焼却に頼るごみ政策はもはや時代遅れです。

### ★ 豊岡市は高い理念をかけています

豊岡市はご存知のように一度は絶滅したコウノトリを40年かけて、復活させ、野生に帰すことになりました。現在、豊岡の空を30羽のコウノトリが舞っています。これは農薬、化学肥料を抑えて、コウノトリの餌となる豊かな生き物が棲める地域づくりがある程度進んでいることを意味しています。農薬漬けの農業から、生きものとの共生をめざす農業のあり方、地域のあり方として、全国はもとより世界からも注目されています。

### ★ 豊岡市長に葉書を出して下さい

#### あなたの声が行政を動かします！

生きものとの共生を進める豊岡市にふさわしいごみ処理計画に転換する英断を豊岡市長に求めて、6月末、環瀬戸内海会議は申し入れを行いました。全国の皆様の声を豊岡市長に届けていただきたいと願っています。日本の再生につながることを祈っています。



この絵葉書を豊岡市長に届けて下さい

### ★ 反対地主は土地不売で団結、

#### 竹野町で反対署名

私たちは兵庫県豊岡市竹野町坊岡区の住民です。昨年4月「広域ごみ・汚泥処理施設建設予定地」に突然されました。竹野川の支流の小さな谷あいにまさか174トンの巨大ごみ施設は来ないだろう油断していた虚を衝かれました。女性を中心に反対の声が上がり始めると、戸主採決で（11対13）受け入れだと決められ、現在、環境影響調査が進められています。

私たちは反対地主11名で土地の不売宣言をし、環瀬戸内海会議のご協力により立木トラストを250本ほど実施して、行政の立ち入りも拒否しています。ごみ問題は地域住民みんなの問題として、竹野町で反対署名を広げています。

### ★ 広域ごみ行政は

#### 市民の知らないところで決められた

国、県の指導で豊岡市は隣の香美町新温泉町と組んで、「北但行政事務組合」を作り、広域ごみ処理を行おうとしています。自民党の賛成与党を使って、

## 兵庫県豊岡市訪問記

# コウノトリの郷にふさわしいごみ処理を！

環瀬戸内海会議共同代表 阿部悦子

## <愛媛と豊岡を行き来するコウノトリ>

私は愛媛県の宇和町に飛来する日本でたつた一羽の野生の雌のコウノトリが豊岡との間を行き来していることから豊岡訪問を思い立った。愛媛ではコウノトリを保護するどころか大規模圃場整備などの公共事業に邪魔になると追い出すかのような施策が取られている一方で、豊岡では40年前に一度日本の空から姿を消したコウノトリを100羽にまで繁殖させ、すでに30羽の放鳥も成功させている。



09.6.25 ご案内の大迫さんと コウノトリの巣立ちの瞬間を待ち構えるファン

## <コウノトリを育てる田んぼ>

コウノトリの郷公園に近い田んぼでは県の事業として110箇所の魚道整備事業が施され、水を抜いた後の田んぼに生き物が避難する水路がしつらえてある。「カエル道」と呼ぶかわいい木の橋も。生物多様性が確保されているこれらの田んぼでは減農薬や有機農法のコメ作りが進み、「コウノトリ育くむ米」として、2割から2倍の価格高で売れるという。ビオトープも多く、まさに豊岡市がうたう「人口規模は小さくとも、世界の人々に尊敬され尊重される<小さな世界都市>の風格がある美しい町だ。



09.6.25 田んぼの水路にも魚道がある

## <竹野川と竹野海岸>

一方、豊岡市が進める広域ごみ焼却計画、これはとてもいただけない。計画予定地の坊岡は、細くて深い谷あいに位置していた。これでは焼却の煙が24軒の人家を覆って滞留するだろう。最悪の立地条件である。

また坊岡は豊岡市に合併前は「竹野町」であり、ここには全国でも珍しい「1町1川」の竹野川が流れ、やがて山陰国立公園の竹野海岸に注いでいる。瀬戸内にはもう少なくなった白砂の自然海岸が、なんとも静かにひかえめに私たちを迎えてくれるのだ。

## <すごくおいしいお魚>

泊めていただいた民宿で夕食の魚を食してみて、心底驚いた。「おいしい」のである。混ざりけのない味、油はのっていてもすっきりとした味のお刺身や煮付け。私はこれまで瀬戸内海の魚が一番おいしいと思ってきたのだったが。周辺に汚染源となるものがないからだろう。・・・だけど、この上流に大型の焼却炉計画だ。もちろん竹野海岸の人たちも上流のごみ焼却施設に反対している。



坊岡地区を支援し立木トラスト

## <この国のごみ施策の転換を豊岡から>

山と海はつながり、下流と上流もつながっている。合併前の竹野町の住民の運動が、上流域、中流域、下流域とつながりあい、ともに学習活動や署名活動に取り組んでおられる。各域のリーダーの方々と会い、必ずや大空にコウノトリが舞う豊岡市にふさわしいごみ処理方策を勝ち取り提起していかれることと思う。私たちも坊岡の運動に学び、この国のごみ政策をどう転換させるのかを一緒に考えていきたいと思う。

## 環瀬戸内海会議・第19期(2008.4.1~2009.3.31)予算・決算

## 並びに、次期第20期(2009.4.1~2010.3.31)予算案

勘定科目	2008年度(2008.4.1~2009.3.31)					2009年度
	予算	決算	今期収入	増減	構成比	予算
<b>[ 収 入 ]</b>						
前期繰越	118,990	118,990				47,948
年会費	1,000,000	1,011,000		11,000	27.22	1,000,000
事業収入	400,000	1,135,900		735,900	30.58	700,000
寄付・カンパ	500,000	339,355		-160,645	9.14	500,000
雑収入	0	17,760		17,760	0.48	0
受取利息	680	1,407		727	0.04	680
トラスト繰入益	10,000	138,600		128,600	3.73	20,000
全労済助成金	0	920,000		920,000	24.77	0
高木基金助成	0	0		0	0.00	0
KJB 基金助成	150,000	150,000	3,714,022	0	4.04	120,000
収入合計	2,179,670	3,833,012		1,653,342	100.00	2,388,628
<b>[ 支 出 ]</b>						
会議費	0	0		0	0.00	0
旅費交通費	300,000	328,974		28,974	9.01	300,000
通信費	280,000	219,953		-60,047	6.03	230,000
事務用消耗品費	45,000	31,123		-13,877	0.85	35,000
新聞図書費	20,000	29,120		9,120	0.80	20,000
諸会費	25,000	37,500		12,500	1.03	25,000
支払手数料	5,000	14,845		9,845	0.41	5,000
寄付金	0	207,000		207,000	5.67	0
雑費	5,000	38,066		33,066	1.04	5,000
トラストニュース	350,000	440,285		90,285	12.06	350,000
総会費	350,000	676,962		326,962	18.55	550,000
事務所費	840,000	481,192		-358,808	13.18	840,000
複写費	220,000	133,551		-86,449	3.66	130,000
機材購入費	10,000	17,460		7,460	0.48	10,000
全労済助成支出	447,261	979,033		531,772	26.82	441,114
高木基金助成支出	0	0		0	0.00	0
KJB 助成支出	150,000	150,000		0	4.11	120,000
支出合計	3,047,261	3,785,064		737,803	103.69	3,061,114
(当期損失金)				-71,042		-720,434
<b>[ 残 金 ]</b>						
次期繰越	-867,591	47,948		-819,643		-672,486

## 監査報告

環瀬戸内海会議第19期(2008年度)会計を厳正に監査したところ、帳票書類等正確かつ適正に処理されていることを認めます。

監査 小西良平

監査 坂永年弘



## 環瀬戸第20回総会へ寄せられたメッセージ(6月13日)

環瀬戸内海会議顧問 山田 國廣

環瀬戸内海会議の皆様へ、  
あれから、もう20年も経ったのですね。  
感慨深い思い出が、頭から湧き出てきました。「瀬戸内海は繋がっており一帯である、ゴルフ場を止めよう」。そんな掛け声で始まった、環瀬戸でした。

バブル経済が弾けたことも重なりましたが、環瀬戸の皆様の努力の結果、多くのゴルフ場を止めることができました。広域的に連帯した住民運動としては、画期的な成果であったと思っています。

その後も、ゴミ処分地、原発、ダム、海面埋め立てなどの阻止運動や、海岸生物調査を粘り強く活動を展開してきました。この粘りは、環瀬戸の人材の豊富さと経験の賜物です。

20年という冷徹な時間経過を通して見ると、多くの開発がいかに無謀なものであったのかがよくわかります。

私といえば、7年前に大阪から京都に引っ越ししました。学生相手に「森林と水の関係を重視した循環系保全活動」に取り組んでいます。フィールドは、主に琵琶湖・淀川水系です。

環瀬戸のこれから活動に期待します。何か、お手伝いができそうなことがあれば、お誘いください。少し、瀬戸内海の皆様と魚が恋しくなっています。



環瀬戸内海会議顧問、ピースデボ代表  
湯浅 一郎

環瀬戸内海会議第20回総会に集まられた皆様  
総会、行けなくてすみません。鞆から見る瀬戸内の風景は、最も瀬戸内らしい風景で、行きたいところなのですが。右に広々とした燧灘、左に塩飽の諸島群が見え、瀬戸内海の特徴を見るのには、絶好の風景ですよね。

環瀬戸顧問をさせて頂いていますピースデボの湯浅です。3月、呉・広島を離れ、ピースデボを中心とした新しい暮らし始まって、早2ヶ月がたちました。

20周年と言えば、この3月6~7日、私たちは、呉の海上自衛隊がソマリア沖に海賊対策を名打って派遣される抗議行動の中で、ピースリンク20周年イベントを行ったばかりです。環瀬戸も、同じ頃にスタートし、同じ時代を生き抜いてきたんですね。お互い、そこそこの生命力だと感慨深いです。20周年、おめでとうございます。

しかし、上関、伊方、豊島、内海、大入島、鞆、岩国などなど・・・個別地域で、それぞれ重大局面を迎え、日々、腐心されておられると思いますが、何と言わようと執拗に粘ることです。そして行動することに、遅すぎるということはありません。

昨年、原子力空母が配備された横須賀では、今、3つ巴の市長選が行われています。結果はわかりませんが、120年の軍港としての歴史を持つ街で、街を2分する形で原子力空母の受け入れの是非をめぐる攻防が、配備された後でも続いているのです。少し前の状況から考えれば、とても大きな前進です。

具体的に積み重ねた努力は、それなりの形になって戻って来ることを信じていきましょう。

私は、自由に時間がとれない身分になっていますが、瀬戸内のことば自分の課題として体にしみついでいます。暮らしの場は少し離れていますが、想いは一緒です。

皆さまのご健勝と、さらなるご健闘を祈念いたします。

愛媛環境ネットワーク 事務局長 渡辺 伸二  
環瀬戸20周年おめでとうございます

自然環境の変容は、人間に知覚出来ないレベルで徐々に進行し、目に見えたときには、実はすでに回復不能なまでにダメージを受けていることがすくなくありません。そこで、息の長い地道な定点観測と自然破壊の現場での迅速な行動を欠かすことが出来ません。

環瀬戸内海会議は、美しくデリケートな、わが瀬戸内海を拠点に、常に先を見据えた、粘り強い環境保全活動の足跡を刻み続けて20年。

地元住民の運動鳩を支え、現場主義に徹した自然保護市民運動の旗手として。

環瀬戸よ、新たな闘いの、のろしをあげよ！

## 6月7日、アースディカガワ in 豊島 2009 盛大に開催！！

天候にも恵まれ、6月7日、アースディカガワ in 豊島 2009 盛大に開催されました。月日も経つのは早いもの、豊島でのアースディも今年で13回目になりました。

早朝から島の人たちの海岸清掃に駆けつけ一緒に汗を流した島外からの参加、午前中は豊島小学校で公害調停成立9周年記念セレモニーに引き続き、高校生たちのサックス生演奏で盛り上げてくれました。

その後の、社団法人生態系トラスト協会会長・中村滝男さんの「森のしづくからの提案」と題しての講演、とても刺激的でした。私も20年前から立木トラスト運動に関わってきましたが、「生態系トラスト」、この会称に驚かされました。ラディカルな会称だなと。トラストは「信じて託す」=信託と訳されます。生態系全体に私たちは信託することなくしては、人間だけが生存できないことを意味しているのだがあらためて考えさせられました。



また、「空飛ぶめだか」の話や、江戸時代ではコウノトリもツルも日本全国各地、至る所で普通に見かけられたが、明治期に入り豊臣以来の「刀狩」が解かれ、住民誰にも銃刀の所持が解禁され、いなくなったことの話。人間の身勝手な行いが生態系をずたずたにして来たこと、そんな歴史を知ることも無く、振り返り反省することなく人生を重ねてきたことに、反省の念仕切りでした。

豊島の美女たちが真心こめて早朝から準備してくれたおむすび弁当での昼食に舌鼓を打ち、午後は、サツマイモの苗ツケ・ビーチコーミング・北海岸生物調査など盛りだくさんなイベントを皆さんのが楽しんでくれたのではないかと思います。

来年2010年で、豊島不法投棄産廃事件公害調停成立満10年、事件の発端となった1975年の「ミニズ養殖」と称して有機汚泥の搬入が始まって、丸35年になります。この長きにわたる豊島住民の闘いは、多数は意見が必ずしも正しいとは限らない「少數者の声に声にこそ真実と正義がある」ことを、あらためて私たち参加者の心のなかに焼き付けたのではないかと思います。

不法投棄産廃の無害化処理は計画どおりには進んでいないと聞きます。豊島の事件を背景に成立した「産廃特措法」は时限立法で、2013年には失効します。しかし、不法投棄産廃の無害化処理は完遂せねばならない、今を生きる私たちの責務であろうと思っています。法の延長か、香川県単独の予算で無害化処理を実施するのか、香川県民の、ひいては全国民の良心に委ねられていると思っています。

他方、うれしく思うこともあります。イチゴのハウス栽培がすでに10年近くの実績を上げ、唐櫃の棚が徐々に復活への歩みをはじめました。強烈な臭いを放っていた現場北海岸には遮水工事後、いち早くアマモやコアマモが復活、そしてイカの産卵、最近ではカメノテまでもが復活してきています。自然の際勢力にも驚嘆させられます。

参加された皆様、豊島を堪能して頂けましたでしょうか。お疲れ様でした。何かと不手際もあったかと思いますが、紙面を借りてお詫び申し上げます。

今回、私は実行委員長をおおせつかったものの、実行委員会にはなかなか参加できず、挙げ句3月下旬には右足を捻挫し、一ヶ月余り安静を余儀なくされ、その後には突発性難聴に襲われ、実行委員会に参加された諸団体ならびに同事務局を支えて下さった皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと、あらためてお詫び申し上げます。

最後になりましたが、昼食弁当や豊島産直市、そして不法投棄現場視察案内等にお力を頂きました豊島の皆様には改めて深く御礼申し上げます。

ジャガイモも収穫時を迎えているのでしょうか、

このニュースが届くころには収穫を終えているかもしれません。でも、秋にはサツマイモの収穫が待っています。そして棚田の稻刈りも待っています。皆さんの参加をお待ちしています。島外からの参加者には折に触れ四季折々の豊島を見続けて頂きたいと思います。

来年2010年は公害調停成立満10年、豊島でお

会いしましょう。2010年のアースディには必ずお会いすることを誓い、挨拶に代えたいと思います。

2009年7月4日

アースディかがわin豊島2009実行委員会  
委員長 松本 宣崇（環瀬戸内海会議事務局長）

## 2009年豊島アースディ海岸生物調査報告

環瀬戸内海会議 生物調査担当 小西良平

環瀬戸内海会議の海岸生物調査は2002年から開始し、今年で8年目を迎えています。2008年は瀬戸内海各地で95箇所、参加人数も660人となった。

今年のアースディの生物調査は、香川大の学生さんと親子連れの約20名が参加してくれた。確認された生物としては、各地で良く見られるイソガニ、前に歩くマメコブシガニ、身体が長方形のオサガニ、巻貝では食べると美味しいスガイ、模様が名前の由来のイシダタミ、海の掃除屋のアラムシロガイ、カサ貝ではマツバガイ、ヨメノカサガイ、ゴカイ類のタマシキゴカイの巣（砂の中の微生物や有機物を食べて出したきれいな砂のフン）とジェリー状の卵塊等が見られた。また指標生物の一つであるカメノテ

が、産廃現場直下の捨て石の隙間に今年初めて発見された。まだ小型ではあるが、今後成長し、個体数が増える事が期待される。

瀬戸内海の調査地点の中でも、この北海岸は2001年産廃投棄現場からの流出する汚染水を遮水壁で止めたことで、その後大幅に環境が改善され、アマモ場が急激に拡大し、今までいなかった生物が見られるようになった自然の回復力を確認できるまれな場所である。

瀬戸内海の環境回復は汚染原因をつきとめ、その汚染原因をなくしてやれば自然の力で回復するものと考えている。「瀬戸内法」を改正して豊かな瀬戸内海を取り戻すために今後も生物調査を続けて行きたい。

## 岡山ハクセンシオマネキ群生観察会報告

環瀬戸内海会議 生物調査担当 小西良平

この干潟は一昨年から観察を開始し、ハクセンシオマネキが非常に多数生息していることを確認しており、瀬戸内海沿岸域でもまれに見る群生地である。今年は8月1日にカニの専門家、地元マスコミ、その他環瀬戸関係者を含めて9人で干潟の観察会を実施したので報告します。

### 1. 生息密度の測定

#### 測定方法

- ・生息数の多い場所で1m<sup>2</sup>の枠内の巣穴の数をカウントして生息数を推定した。
- ・干潟に流れ込む水路の両側をA、Bに区分し、各5地点で測定し平均した。

#### 測定結果

- ・A地点で平均70個体/m<sup>2</sup>、B地点で平均74個体となった。

場所	1	2	3	4	5	平均
A	55	70	75	77	72	69.8
B	76	76	79	72	65	73.6

### 2. 全生息数の推定

#### 測定方法

- ・ハクセンシオマネキの生息が確認される範囲の面積を測定し、生息密度から全体の生息数を推定した。

#### 推定結果

- ・生息場所の面積=15m×24m×π=1,130m<sup>2</sup>
- ・生息数の平均=50個体/m<sup>2</sup>

（生息密度測定は多い箇所で測定したので推定にはそれより少ない50個体/m<sup>2</sup>を使用した）



・全生息数=1,130×50=56,500個体

### 3. 生息干潟の砂の粒度

#### 測定方法

- ・3ヶ所の砂を採取し、フレイで粒度を測定した。

#### 測定結果

粒度	3.35mm+	%	①	②	③	平均
			10.5	8.1	8.1	8.9
3.35~1.0mm	%	31.8	28.6	41.8	34.1	
1.0~0.3mm	%	35.2	32.6	32.3	33.4	
0.3~0.1mm	%	16.0	17.6	13.3	15.6	
0.1mm-	%	6.5	13.1	4.5	8.0	

・干潟の砂は3.35~0.3mmの粒が約7割を占めていた。

### 4.まとめ

棲息密度は2007年観察時より増加しており、今回全棲息数を測定したところ約5万個体の群生であることが解った。

この干潟は瀬戸内海でもまれなハクセンシオマネキの群生地であるので、今後も継続して観察し、個体数の変化を見ていきたい。



## ★★★ 各地の2009年海岸生物調査点描 ★★★

今年も各地で海岸生物調査が実施されています。あなたの暮らす足元の海を調査して見てください。新しい発見があるかもしれません。子どもたちのきらきらと輝く目が本当にまぶしく思います。

10月まで大潮の日は5~6回しかありませんが、今年の調査にご協力をお願いします。



2009.5.10 兵庫県明石市



2009.6.20 岡山県瀬戸内市牛窓町



2009.8.2 香川県観音寺市余木崎



2009.8.8 愛媛県松山市中島

## 第20回総会での議論をふまえて

### 厳しい経済状況・ご一緒に乗り切りたい！

#### ＜環瀬戸がピンチ＞

今年4月4日、この日の環瀬戸役員会はいつもの岡山駅前の喫茶店「ノリタケ」で行われた。これまたいつもの議題の多さから、6月14日の20回総会に向けて議論を急ごうとしていた矢先のことである。・・・「ん・・・ムムム・・・」昨年と今年の予算決算案が松本事務局長から提示されたときのことだ。「わあ！お金がない。存亡の危機くらいのことや」と私。

松本さん。「うなんや。特に来年は助成金がほとんどもらえないからね。来年は僕約しても72万円の赤字じや」私「えっ！それでも今年だって松本さんに月7万円支払う事務費が月4万円になってるじゃない」松本さん「しゃあない」みんな「・・・」松本さん「来年はこれをゼロにしたら何とかなる」  
**(予算決算のページ参照)**

私たちは、特に私は大反省をしなければならない。役員はじめ環瀬戸の会員も、みんなその活動はボランティアとはいって特に松本事務局長の仕事の多さ、各地への支援の細やかさ、トラストニュースの編集から発送まで、お連れ合いのお力を得ながらほとんど一人でこなす。しかも、私も訪れたことのある松本家には環瀬戸関連のグッズが山のように積まれている。お連れ合いのご理解がなければできないことだ。

共同代表 阿部 悅子

その松本さんへのたった月7万円の支払いができるほど、環瀬戸の経済はひつ迫しているのだ。松本さんは「豪傑」そうでも、とてもシャイなところがある。「金がない」などと言わずに来たのだ。そして私たちは彼に甘えてきた。第一、会の助成金を申請する仕事も彼自身がやってきたのである。

#### ＜総会での議論＞

鞆の浦の第20回総会で、私は以上のような環瀬戸の状況を訴えた。多くの人たちから、ありがたい議論が沸き起こった。「会費が安すぎるのではないか」「カンパを募ろう」東京の方からは「手作りグッズを売ってカンパにしましょう」とのお申し出もあった。会費の値上げについてはこれから1年間、会員に投げかけて来年の総会の議題にしよう」ということになった。誰もが環瀬戸の存在意義を認めて、期待を寄せてくださっていることに、役員一同大変ありがたい気持ちである。

環瀬戸は、多くの現地の課題を抱えている。上関、内海ダム、大入島、豊島問題も終わったわけではない。今年8年目の海の生物調査も続けていきたい。運動現地へのカンパについては、これまでたびたび募ってきた環瀬戸だけど、今回ばかりは環瀬戸の今後の活動のために、皆さんからのカンパを是非お願いできればと思います。

#### 上関原発公有す面埋立て認可取消請求 「自然の権利」訴訟 第一回口頭弁論期日

8月19日（水） 13:30～ 公判後、報告会

山口地方裁判所

ぜひ、傍聴に駆けつけてください

8月30日投票の衆議院選挙立候補予定者にあて「瀬戸内法改正」についてのアンケートを行いました。

アンケート集計結果を別紙同封しますので、投票に際し、ぜひ御参考にしてください。

#### 09年度会費納入のお願い

年会費（一口） 個人2,000円 団体5,000円（何口でも）  
—— カンパもお願いします。 ——



すでに納入頂いた方にも振込用紙を同封していますが、ご容赦下さいますようお願い致します。環瀬戸内海会議の活動は、主に年会費とカンパで賄われています。と同時に、環瀬戸では各地の運動支援や瀬戸内法改正のための支援カンパや立木トラストへのご協力をお願いしています。ご理解のうえ、カンパにご協力をお願いいたします。

#### 瀬戸内トラストニュース 第46号 2009年8月20日発行 / 発行責任者 前田俊英

環瀬戸内海会議 共同代表 阿部悦子 石井 亨

郵便振替口座 01600-5-44750 加入者 環瀬戸内海会議

振込みは銀行口座からもできます

他金融機関からの振り込み用 口座番号一六九（イチロクキュウ）店（169） 当座 0044750

URL <http://www.tiki.ne.jp/~rkshizutani/>

メールアドレス [kanseito@mx36.tiki.ne.jp](mailto:kanseito@mx36.tiki.ne.jp)